

《キーワード》 歯科審美、漂白処置、オールセラミッククラウン、CAD/CAM、検査・診断、治療計画、メンテナンス

《担当者名》 越智 守生 齋藤 隆史

【概要】

本コースの目標は、審美歯科治療の実践に必要な知識と手技を講義と実習で身につけること、及び指導医の下、臨床で経験を積み、治療計画の立案からメンテナンスまでの全過程に必要な知識と技術を習得することである。

【学修目標】

1. 審美歯科治療の臨床的意義を説明できる。
2. 審美歯科治療の適応症と禁忌症を説明できる。
3. 漂白処置を説明できる。
4. セラミック修復・補綴治療（CAD/CAMを含む）を説明できる。
5. 審美歯科治療のための写真撮影法を実践できる。
6. 審美歯科治療のための検査・診断ができる。
7. 審美歯科治療の治療計画を立案できる。
8. 審美歯科治療を症例に応じて実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科審美学の基礎と臨床的意義		越智 守生 齋藤 隆史
2	漂白処置の基本		越智 守生 齋藤 隆史
3	セラミック修復・補綴治療（CAD/CAMを含む）の基本		越智 守生 齋藤 隆史
4	学会発表・論文作成		越智 守生 齋藤 隆史
5	抄読会の開催		越智 守生 齋藤 隆史
6	症例検討会の開催		越智 守生 齋藤 隆史
7	学外講師によるセミナーの開催		越智 守生 齋藤 隆史
8	模型を用いた審美歯科治療実習		越智 守生 齋藤 隆史
9	担当患者への審美歯科治療の実践		越智 守生 齋藤 隆史

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、レポート、症例発表、技工ケース

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

4年次までに専門医取得に必要な症例数の1/3以上を経験する。

【学修の準備】

学生はコースの目的を理解して、しっかりと講義などの準備をすること。